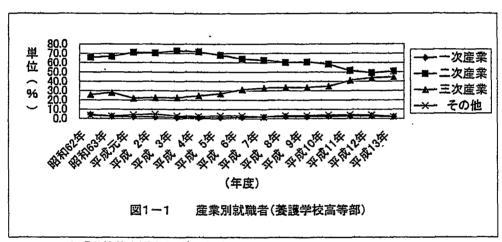
Title	文部科学省著作教科書(養護学校用)及び学校教育法第107条に規定する教科用図書に関する研究
Author(s)	三浦, 道弘
Citation	公教育システム研究, 5, 45-116
Issue Date	2006-02
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/20514
Туре	bulletin (article)
Additional Information	There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL.
File Information	03-pess5_appendix.pdf (資料)



# 一 資 料 編 一



注) 『学校基本調査』を基に作成。

### 表1-1 文部科学省著作教科書【養護学校(知的障害)用教科書】一覧

文规科学省等作册科学(等研学校(知的精学))小学部

A APT-F-T		COM / APPLIES	<del>降さりパープの</del>				
国語科	<b>=&lt;=</b>	1~2年	ひくれず	3~4年	こくごサナ	5~8年	こくごタタタ
算数科	さんすう	1~2年	さんすう☆	3~4年	さんすう☆☆(1)(2)	5~6年	さんずう☆☆☆
音楽科	おんがく	1~2年	おんがくか	3~4年	おんがく☆☆	5~6年	おんがく女女女

注 さんすう☆☆は(1)(2)と2冊の分冊になっているが、採択する原は、2冊一線にさんすう☆☆を探択することになる。

文部科学省著作册科本(基础学校(知的整理)]中学和

人都行于首省作权行至(发展于代(知时降音/3十字部						
国語科	国語	1~3年	国語女女女女			
数学科	数学	1~3年	数学女女女女			
音楽科	音楽	1~3年	音楽なななな			

## 表2-1

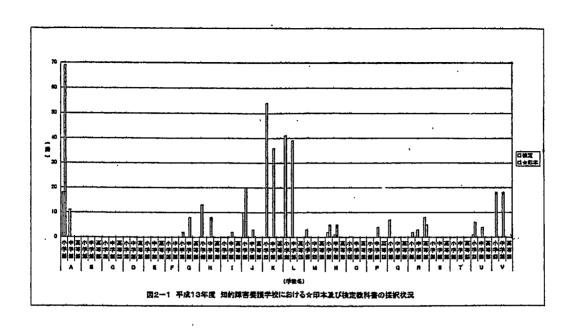
# 教科用図書採択地区の設定

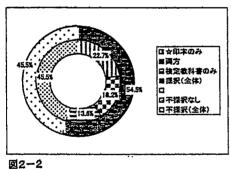
### 北海道教育委員会告示第90号

教科用図書祭択地区を、森務教育諸学校の教科用図書の無慎措置に関する法律(昭和 38 年 12 月 21 日法律第 [82 号) 第 12 条第 1 項の規定によって、次のとおり数定した。 昭和 39 年 5 月 4 日

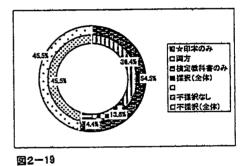
北海道教育委員会委員長 川 村 秀 雄

採択地区の名称	· 標 成
第)提択地区	江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石祥市、厚田郡(厚田村)、浜益郡(浜益村)、石狩郡(当別町、 新福津村)
第2 採択地区	松前郡(松前町、福島町)、上磯郡(上磯町、木古内町、知内町)、亀田郡(大野町、七飯町、戸井町、 恵山町、椴佐連村)、茅部郡(南茅部町、葉町、砂原町、鹿部町)、山越郡(長万部町、八雲町)
第 3 操択地区	接山郡(江芝町,厚沢部町、上ノ国町)、硝志郡(荒石町、乙部町)、久遠郡(大成町)、臭尻郡(臭尻 町)、瀬橋郡(瀬橋町、北接山町。今金町)
第4提択地区	永市郡(余市町、仁木町、赤井川村)、古平郡(古平町)、福丹郡(積丹町)、古平郡(神恵内村、泊村)。 岩内郡(岩内町、共和町)、破谷郡(関赵町)、舜郡郡(孫松内町、舜郡町)、島牧郡(為牧村)、虹田郡 (現知安町、京福町、富茂別町、二七コ町・留秀郡村、寅狩村)
第5提択地区	奏領市、穿別市、赤平市、三笠市、通川市、砂川市、歌志内市、深川市、空知郡(栗沢町、南幌町、上砂川町、奈井江町、北村)、夕張郡(由仁町、長沼町、栗山町)、標戸郡(月形町、浦白町、新十津川町)、 孫元郡(妹背牛町、狭父別町、孫竜町、北竜町、沼田町、焼加内町)
第6提択地区	士別市、名寄市、富良野市、上川郡(当原町、比布町、上川町、東川町、美灰町、和窓町、剣淵町、朝 日町、田運町、下川町、愛別町、鷹栖町、漢神楽町)、笠知郡(上宮良野町、中宮良野町、南宮良野町)、 勇払郡(占尨村)。中川郡(美深町、中川町、音威子府村)
第7提択地区	留前市、增毛郡(增毛町)、留蒴郡(小平町)、苫前郡(苫前町、羽幌町、初山別行)、天塩郡(遠別町、 天塩町、幌透町)
第 8 操択地区	後内市、宗谷郡(琉払村)、枝幸郡(浜明別町、中領別町、枝幸町、歌坐町)、礼文郡(礼文町)、利民 郡(利民富士町、利民町)、天塩郡(豊富町)
弄.9 採択地区	網走市、北見市、紋別市、網走郡(女演別町、英橋町、海別町、東孫罕村)、海里郡(斜里町、清里町、小清水町)、常呂郡(湖野町、岡子府町、隆戸町、留辺楽町、佐呂間町、常呂町)、紋別郡(生田原町、遠野町、丸瀬市町、上清別町、清別町、満上町、興都町、塩武町、白流村、西班が村)
第 10 採択地区	登別市、伊達市、有味器(社香町、大港村)、虻田郡(虻田町、豊浦町、洞舘村) 白老郡(白老町)、 勇払郡(早来町、迫分町、厚冥町、鵡川町、鹿別町)
第11 操択地区	が挑耶(日高町、平取町、門別町)、新茂郡(新冠町)、静内郡(郡内町)、三石郡(三石町)、浦河郡(浦 河町)、柴収郡(役収町)、槐泉郡(えりも町)
第 12 採択地区	河西郡(芽茎町、中札内村、更別村)、上川郡(清水町、新得町)、河東郡(庭追町、士幌町、上土幌町、音更町)、中川郡(森別町、池田町、本別町、豊頃町)、十勝郡(浦帆町)、広尾郡(広尾町、大樹町、寒瀬村)、足済郡(足済町、陸別町)
第13 採択地区	厚岸郡(厚岸町、浜中町)、川上郡(探流町、第子風町)、阿寒郡(阿寒町、鶴居村)、白穂郡(白瀬町、 音別町)
第14 操択地区	摂金市、野付鮮 (別海町)、原本郡 (福津町、中標津町)、自梨郡 (羅白町)
第 15 採択地区	札幌市
第 16 採択地区	国趋市
第 17 採択地区	旭川市
第 18 採択地区	小株市
第19 採択地区	<b>室隔市</b>
第 20 提択地区	<b>網路市、網路郡(網路町)</b>
第 21 操択地区	赤広市
第 22 提択地区	夕装市
第 23 操択地区	岩兒沢市
第 24 採択地区	<b>苫小</b> 牧市

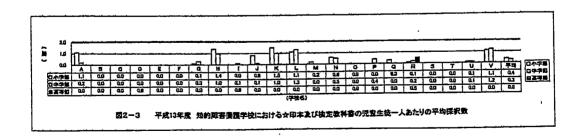


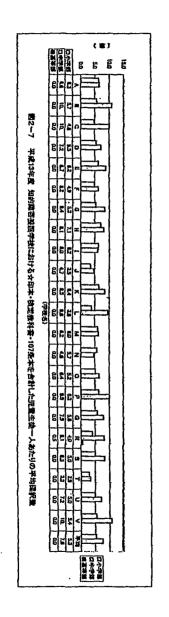


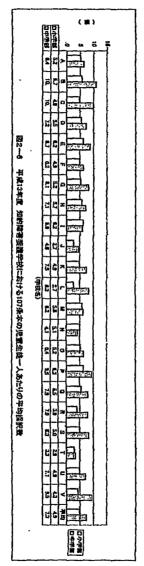
型2--2 知的障害養護学校小学部における★印本 または検定教科書の採択状況

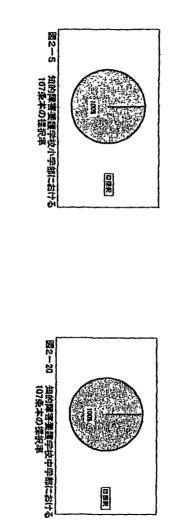


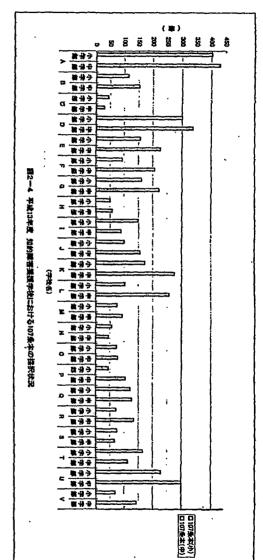
2 10 知的障害養護学校中学部における★印本または検定教科書の採択状況

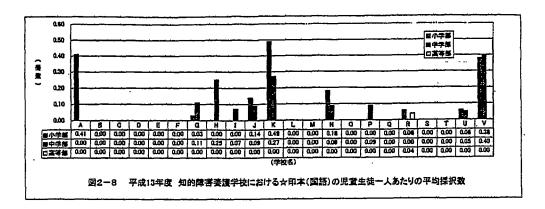


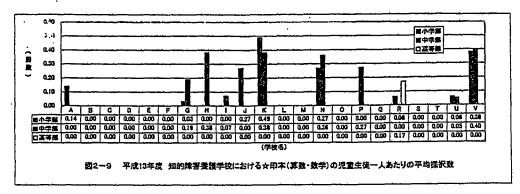


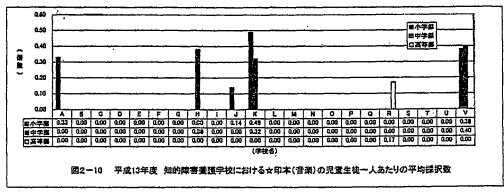


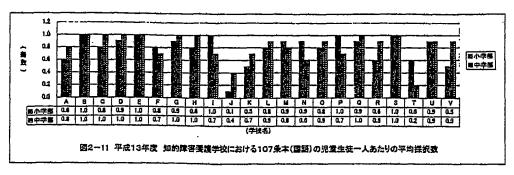


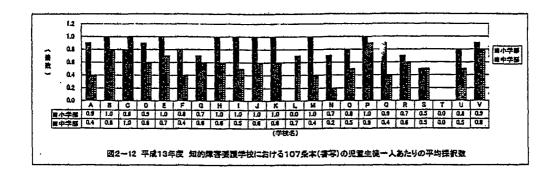


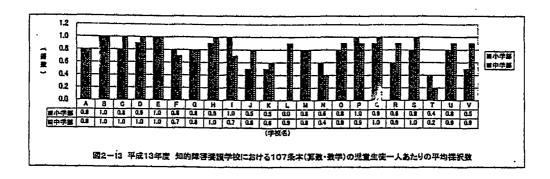


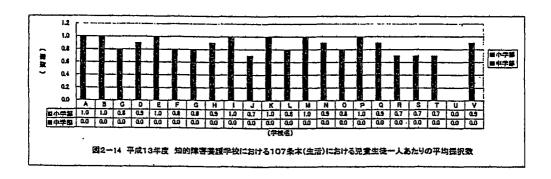


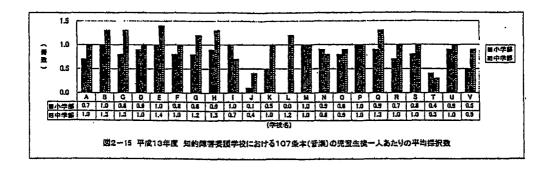


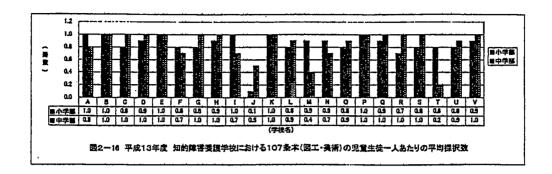


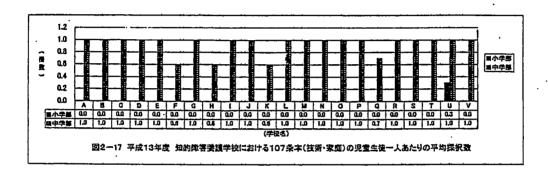


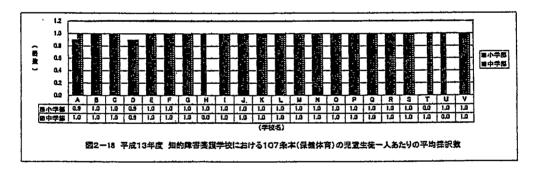


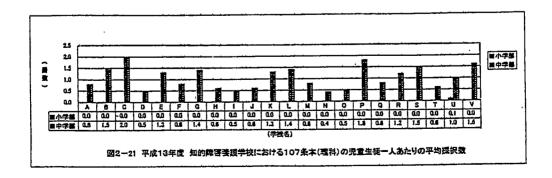


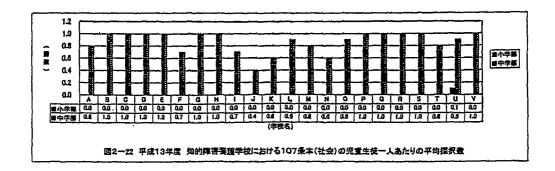


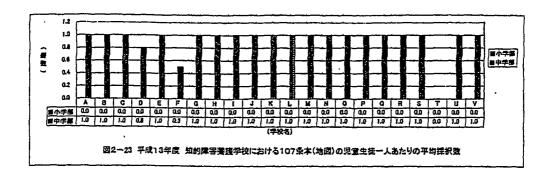


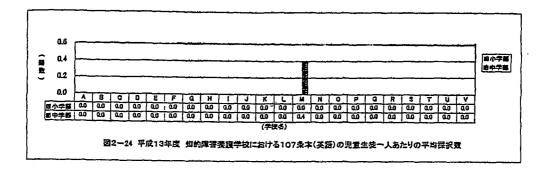


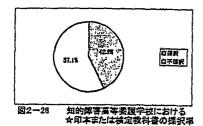


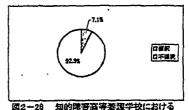




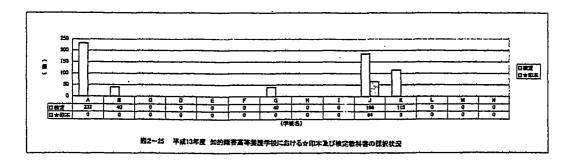


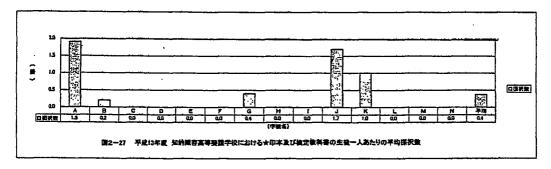


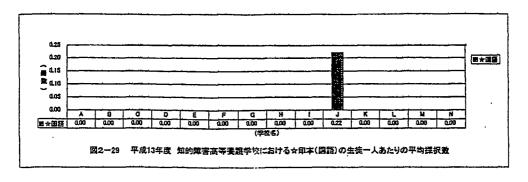


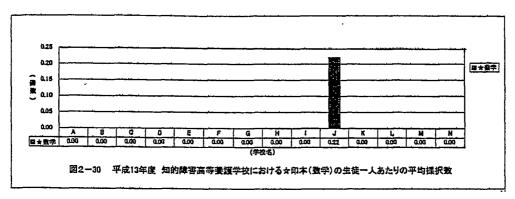


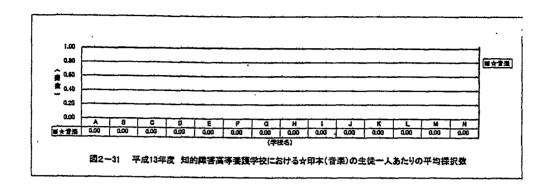
知的障害高等養護学校における 女印本の採択率 图2-28

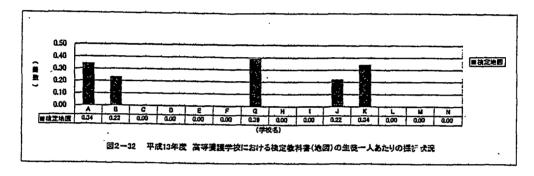


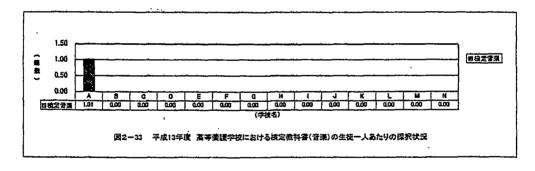


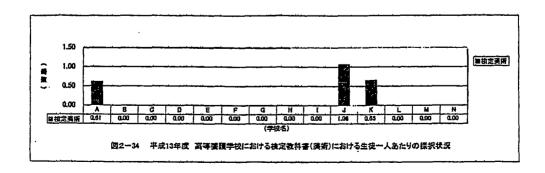












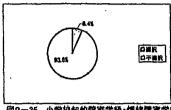


図2-35 小学校知的障害学級・情緒障害学級 設置校における女印本の採択率

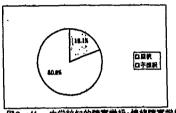
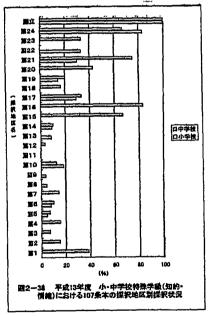


図2-41 中学校知的障害学級・情緒障害学級 設置校における☆印本の採択率



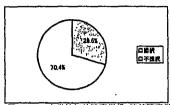


図2-37 小学校知的障害学級・情緒障害学級 設置校に おける107条本の採択率

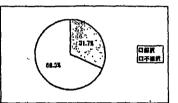
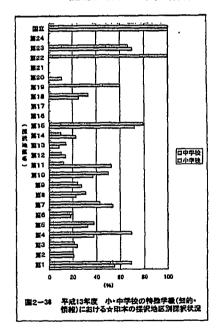
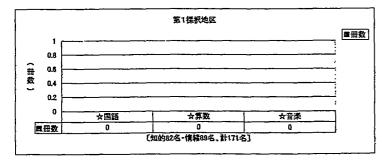
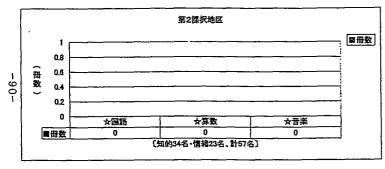


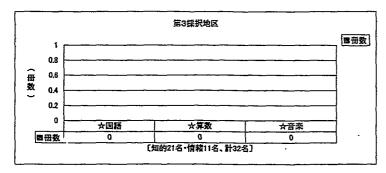
図2-42 中学校知的障害学級・情緒障害学級 設置校における107条本の採択率

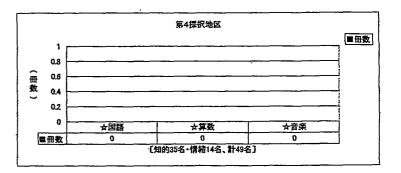


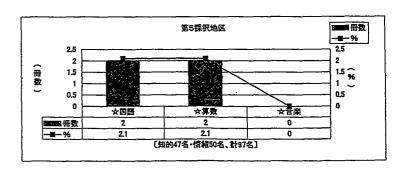
資料2-4 小学校特殊学級(知・情)における教科別採択状況(24採択地区別)

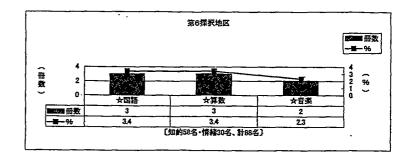


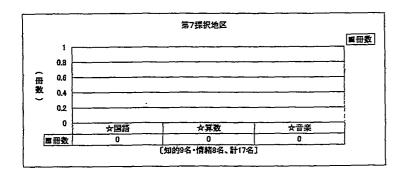


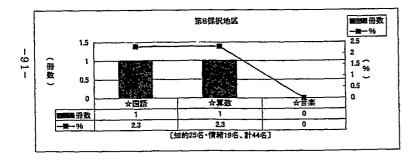


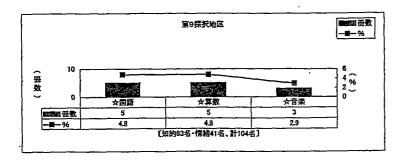


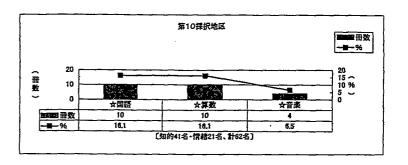


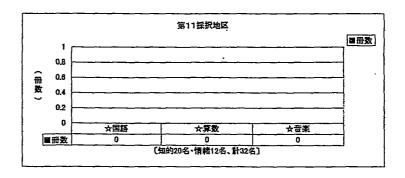


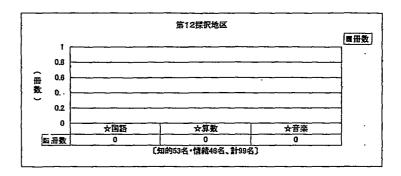


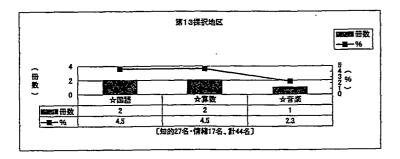


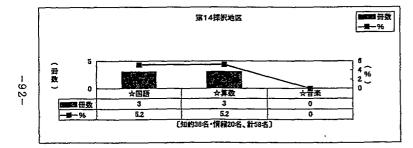


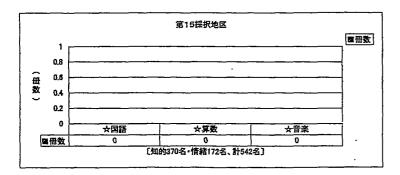


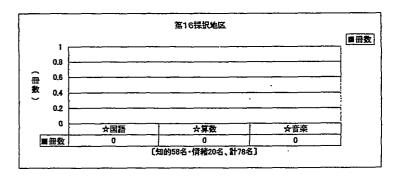


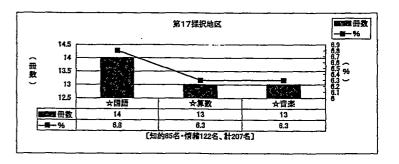


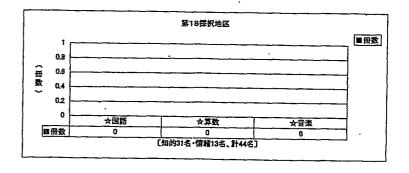








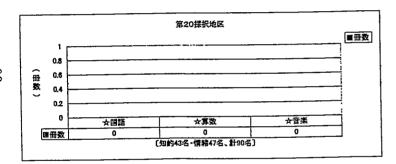


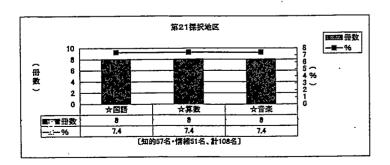


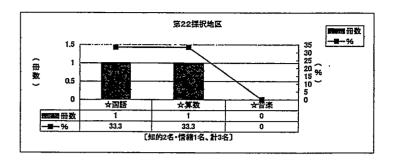
第19採択地区

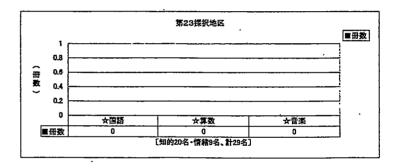
四 冊数

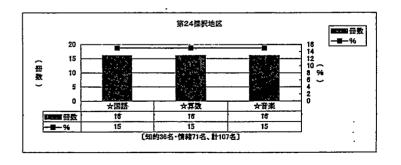
-≡-%

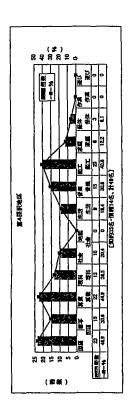


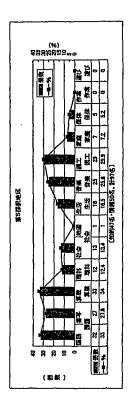


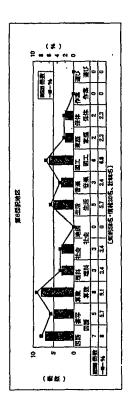


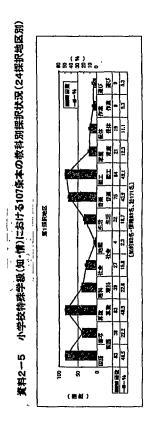


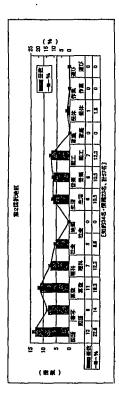


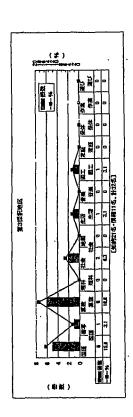


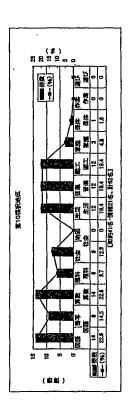


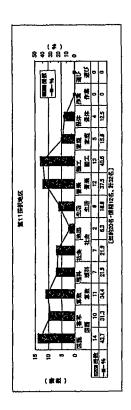


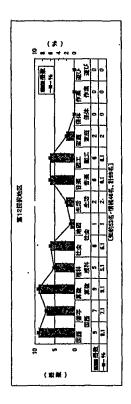


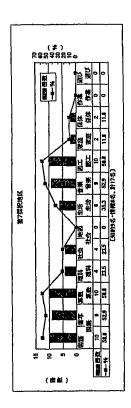


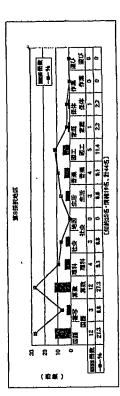


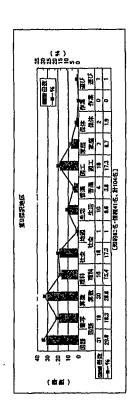


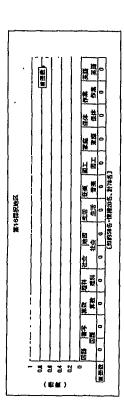


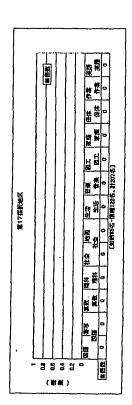


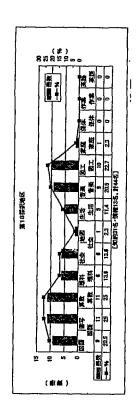


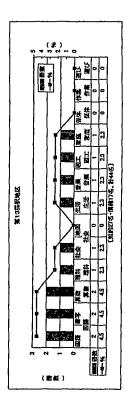


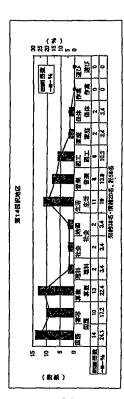


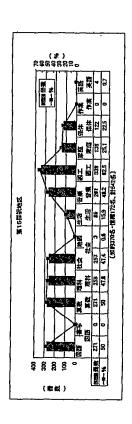


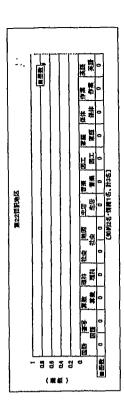


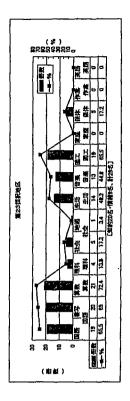


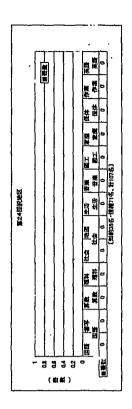


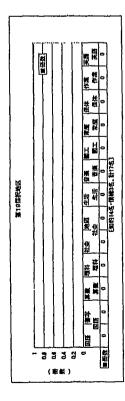


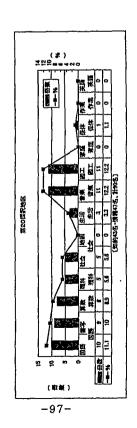


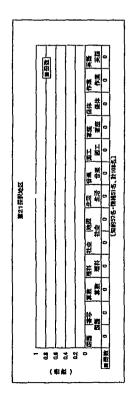






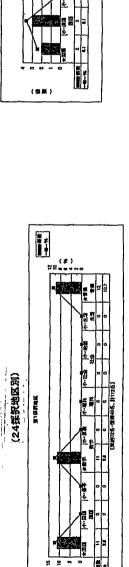




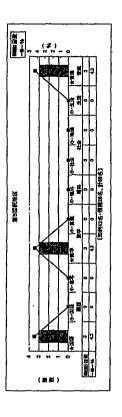


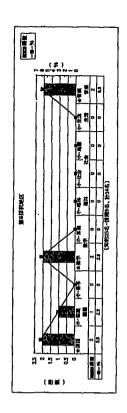
資料2-6 中学校特殊学籤(知·情)におけるヶ印本及び小学校用検定教科書の教科別撰択状況

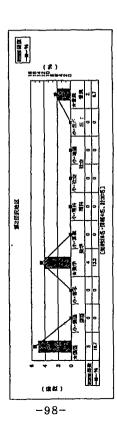
置4提記數區

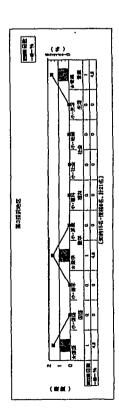


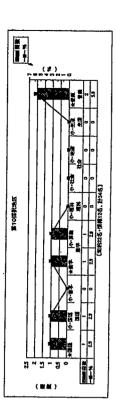
(職献)

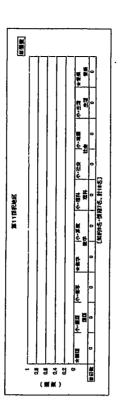


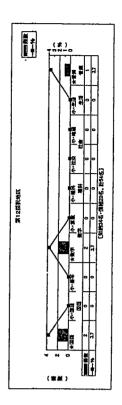


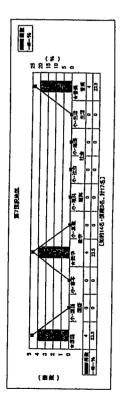


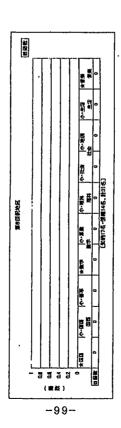


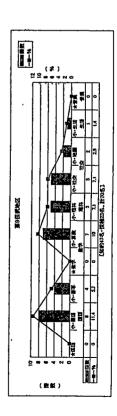


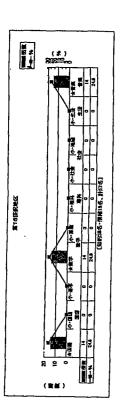


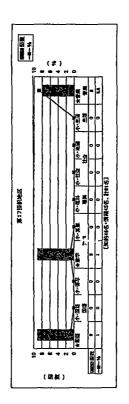


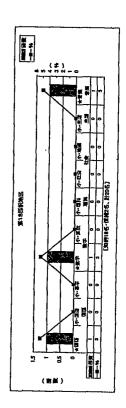


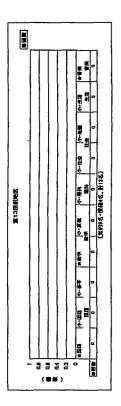


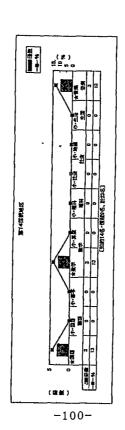


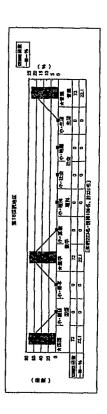


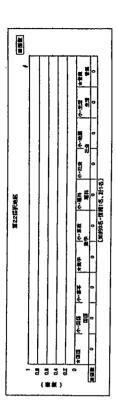


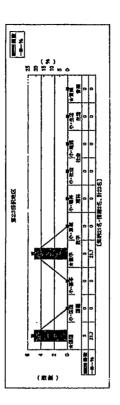


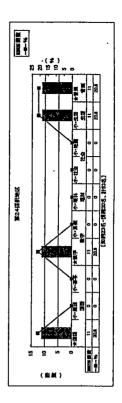


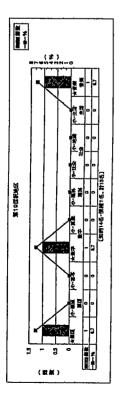


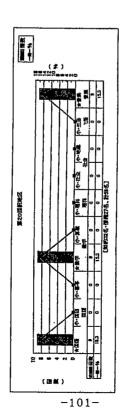


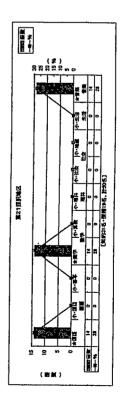


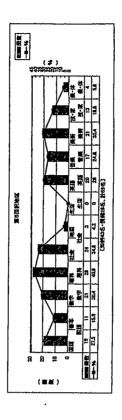


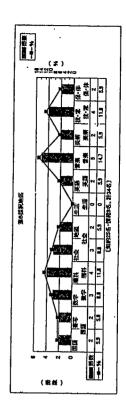


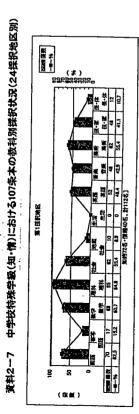


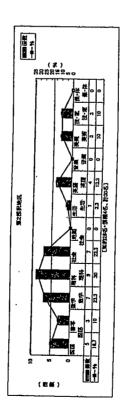


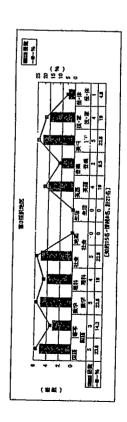


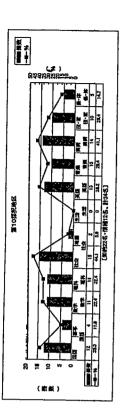


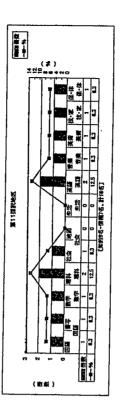


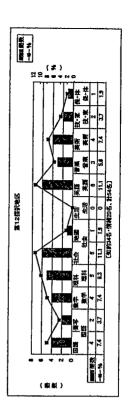


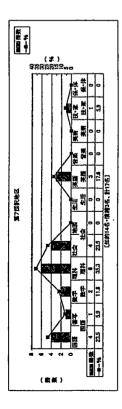


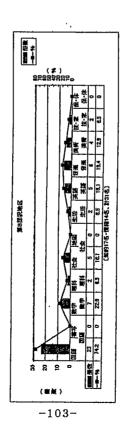


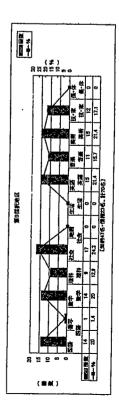


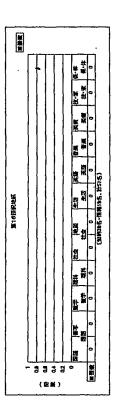


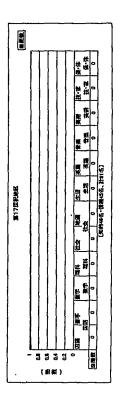


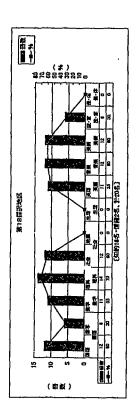


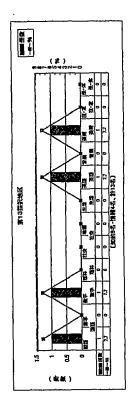


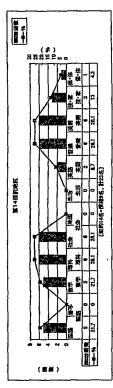


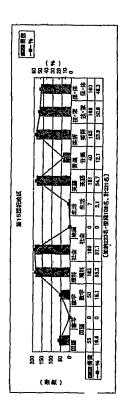




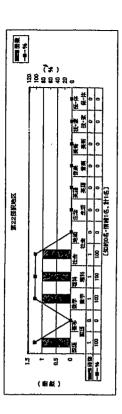


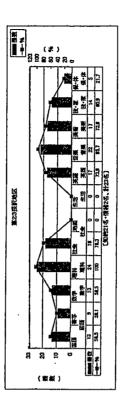


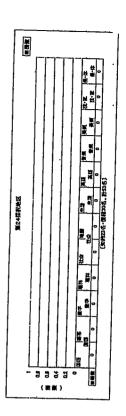


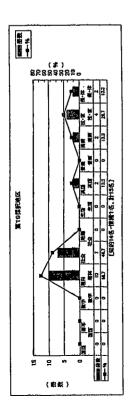


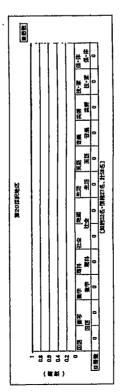
-104-

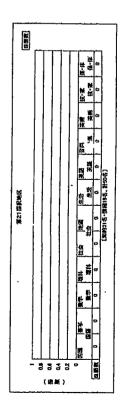


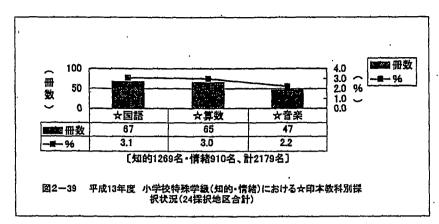


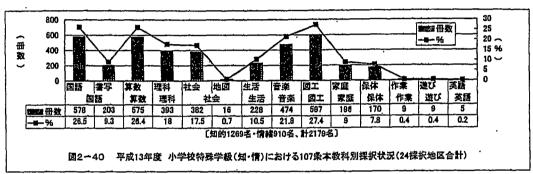


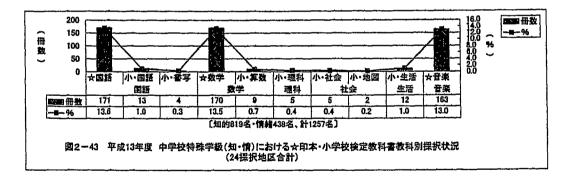


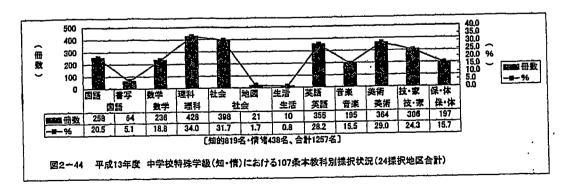












## 資料3-1 X養護学校及びY養護学校における調査回答者の基本データ

### <X養證学校>

X養鼠学校 N=	43	人数	96
7 性別	男	25	58.1%
	女	18	41,9%
2 数職年数	0~4年	7	16,3%
}	5~9#	13	30.23
ĺ	10~14年	9	20.9%
1	15~19年	3	7,0%
	20年以上	11	25,6%
3 特殊被職年款	0~4年		20,9%
1	5~9年	13	30.25
	10~14年	8	18.5%
i	15~18年	4	9.3%
<u></u>	20年以上	9	20.9%
4 模拟学性免許	あり	28	65.1%
L	なし	15	34,9%
5 担当学等	1	19	44.23
	中	16	37,2%
١.		5	11.5%
L	担任外	3	7.03
6 動斑技	英等要提	0	0.0%
[	美選	43	100,0%
}	中学校		0,0%
L	小学校		0.0%

## <Y養護学校>

Y麦迪学校 N=	39	人数	%
1 性別	男	16	41,0%
<u> </u>	女	23	59,0%
2 收取年數	0~4年	- 8	20.5%
Į.	5~9年	15	38.5%
	10~14年		20.5%
	15~15年	5	12.8%
	20年以上	3	7,7%
3 特殊故職年業	0~4年	9	23,1%
l	5~9年	15	38.5%
]	10~14年	\$1	28,23
l	15~19年	2	5.15
	20年以上	2	5.1%
4 基理学技术所	254	20	66.7%
	なし	131	
5 担当学部	小手等	14	35.9%
1	中学部	11	28.25
(	直等部	12(	30.8%
L	担任外	2	5.1%
6 負務校	高等美額	- 0	0.0%
ł	養護	39	100.0%
{	中学校	o	0.0%
	小学校	0	0.0%

- | <総計>

数計 N=82		人数	96
1 153	男	41	50.0%
	接	41	50.0%
2 建聚丰孜	Q~4#	15	18.3%
	5~9年	28	34.1%
}	10~14年	17	20,75
j	15~13年		9.8%
	20年以上	14	17,1%
3 特殊使用手灣	0~4年	18	22.0%
	5~9年	28	34,15
i	10~14年	19	23.25
{	15~19#	6	7.3%
l	20季以上		13,4%
4 美宜学技会許	254	54	65.9%
	なし	28	34,1%
5 担当学年	小中高	33	40.2%
(	(中 )	27	32.9%
ł	漢	17	20.7%
	担任外	5	6.1%
6 加强较	五字圣道	0	0.0%
{	養遺	82	100,0%
i	4	0	0.0%
	10		0.0%

表3-1 ☆印本の認知

	X養護学技	ž n≈43	Y養護学	₹_n=39	総計	n=82
知っている	36	83.7%	33	84.6%	69	84.1%
知らない	7	16.3%	6	15.4%	13	15.9%
その他	O O	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

表3-2 ★印本の閲覧

	X養護学校	n=43	Y賽護学校	n=39	総計	n=82
見たことがある	33	76.7%	32	82.1%	65	79.3%
見たことがない	10	23.3%	6	14.0%	16	19.5%
その他	0	0.0%	1	2.6%	1	1.2%
<その他> ・分からない 1					_	

表3-3 女印本を閲覧した場所(複数回答)

X菱諲学校	n=33	Y菱護学校	n=32	総計	n=65
		32	100.0%	64	98.5%
2		11	3.1%	3	46.2%
2		0	0.0%	. 2	3.1%
1	3.0%	O.	0.0%	1	1,5%
	32 32 2 2 1 1	32 97.0% 2 6.1% 2 6.1%	32 97.0% 32 2 6.1% 1 2 6.1% 0	32 97.0% 32 100.0% 2 6.1% 1 3.1% 2 6.1% 0 0.0%	32 97.0% 32 100.0% 64 2 6.1% 1 3.1% 3 2 6.1% 0 0.0% 2

表3-4 これまでの★印本の使用状況

	X養護学校	n=43	Y養護学校	n=39	総計	n=82
使用したことがある	15	34.9%	19	48.7%	34	41.5%
使用したことがない	28	65.1%	19	48.7%	47	57.3%
その他	0	0.0%	1	2.6%	1)	1.2%
くその他> ・分からない 1						

表3-5 現在の女印本の使用状況

	X養護学校	n=43	Y養護学校	n=39	総計	n=82
使用している	1	2.3%	3	7.7%	4	4.9%
使用していない	41	95.3%	34	87.2%	75	
その他	1	2.3%	2	5.1%	. 3	3.7%

- その他> ・ほとんど使用しない 1 ・授楽に入っていないので 1 ・分からない 1

表3-6 女印本の取り扱い

	X亲烫学校	n=43	Y美寶学校	n=39	##	n=82
1 毎日児童生徒に持ち帰りさせている	OI.	0.0%	_ 1	2.6%	1	1,29
2.持ち帰りはさせず、担任が預かり授業の時に渡す	1	2.3%	0	0.0%	1	1.2
3 持ち帰りはさせず、児童生徒の机の中に入れている	01	0.0%	0	0.0%	. 0	0.0
4 持ち傷りはさせず、教室の本棚やロッカーに入れている	31	7.0%	6	15.4%	. 9	11.0
- 付う赤りはととう、枝上の牛房でニッカートライン・ラー 5 その他	0	0.0%	2	5,1%	2	2.4
・ その他> ・						

表3-7 女印本の教科別使用状況(複数回答)

	X賽護学校	n=43	Y養護学校	n=39	総計	n=82
こくによ	1 1	2.3%		2.6%	2	2.4%
こくご * *	0	0.0%	1	2.6%	1	1.2%
こくこ * * *	0	0.0%		2.6%	1	1.2%
国語女女女女	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
さんすう☆	1	2.3%	0	0.0%	1	1.2%
さんすう☆☆(1)	0	0.0%	. 1	2.6%	1	1.2%
さんすう☆☆(2)	0	0.0%	1	2.6%	1	1.2%
さんすう☆☆☆	0	0.0%	1	2.6%	1	1.2%
数学女女女女	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
おんがく☆	11	2.3%	0	0.0%	1	1.2%
おんがく☆☆	0	0.0%	2	5.1%	2	2.4%
おんがく☆☆☆	0	0.0%	. 0	0.0%	0	0.0%
音楽☆☆☆☆	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	. 0	0.0%

表3-8 ☆印本の活用法

	X表記学校	n=43	Y表现学社	n=39	代件	n=82
1 女甲本をメインテキストとして使用している	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2 同週プリントなどを中心としながら、☆印本はサブテキストとして活用している	0[	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3 女印本の内容にはこだわらず、イラストや写真、文字や表字などで等時になるところで活用している	1 1L	2.3%	4	10.3%	5	6.15
4 提求時に女印本を児童生徒に示すことで、勉強時間であることの童堂付けのために活用している	01	0.0%	. 0	0,0%	0	0.0%
5 女用本の活用方法は教科によって違う	10	0.0%	Gi	0.0%	0	0.0%
6 子の他	0	0.0%	11	2.6%	. 1	1.2%
<その他> ・個別の指導の中で、実際に応じて部分的に取り入れている 1						

表3-9 ★印本の使用頻度

<国語>	X養護学校	n=43	Y養護学校	n=39	総計n	=82
毎回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2~3回に1度程度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
週に1度程度	0	0.0%	0	0.0%	G	0.0%
月に1度程度	1	2.3%	0	0.0%	1	1.2%
半年に1度程度	0	0.0%	0	0.0%	. 0	0.0%
年に1度程度	0	0.0%	2	5.1%	. 2	2.4%
その他	O	0.0%	11	2.6%	11	1.2%

く算数・数学>	X養護学校	n=43	Y養護学校	n=39	総計	n=82
毎回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2~3回に1度程度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
週に1度程度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
月に1度程度	1	2.3%	0	0.0%	1	1.2%
半年に1度程度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
年に1度程度	0	0.0%	1	2.6%	1	1.2%
その他	0	0.0%	1	2.6%	1	1.2%
くその他>	(と言った時に	·/ # 1				

く音楽>	X養護学校	n=43	Y養護学校	n=39	総計	n=82
毎回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2~3回に1度程度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
週に1度程度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
月に1度程度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
半年に1度程度	1	2.3%	0	0.0%	1	1.2%
年に1度程度	0	0.0%	2	5.1%	2	2.4%
その他	0	0.0%	1.	2.6%	1	1.2%

くその他> ・子どもが歌いたいと言った時に使用 1

表3-10 ☆印本を使用しない時の授業の在り方(複数回答)

<b>&lt;国語&gt;</b>	X養護学校	n=43	Y養護学校	n≈39	総計	n=82
1 自作の教材・教具を使用している	10	23,3%	131	33.3%	. 23	28.07
2 自作の問題プリントを使用している	5	11.6%	3(	7.7%	8	9.8%
3 市販の教材・教具を使用している	31	7.0%	6	15.4%	9	11.09
4 市販の問題プリントを使用している	8	18.6%	3	7.7%	11	13.49
5 107条本を使用している	5	11.6%	2	5.1%	7	8.57
6 検定教科書を使用している	O	0.0%	0	0.0%	0	.0.09
7 領域・教科を合わせた指導が多いため国語の授業は行っていない	26	60.5%	17	43.6%	43	52.49
8 その他	3	7.0%	31	7.7%	6	7.39
くその他>			•			

〈算徴・数学〉	X賽護学校	n=43	Y養護学校	n=39	総計	n=82
1 目作の教材・教具を使用している	91	20.9%	9	23.1%	18	22.0%
2 目作の問題プリントを使用している	5	11.6%	3	7.7%		.9.8%
3 市販の教材・教具を使用している	3	7.0%	4	10.3%	7	8.5%
4 市販の問題プリントを使用している	4	9.3%	21	5.1%	6	7.3%
5 107条本を使用している	. 1	2.3%	2	5,1%		3.73
6 検定教科書を使用している	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7 領域・教科を合わせた指導が多いため算数・数学の授業は行っていない	27	62.8%	181	46.2%	.45	54.9%
8 その他	4	9.3%	2	5.1%	6	7.3%
<その他> ・教科はしていない 3 ・領域・教科を合わせた指導の中で算数の指導を行っている 1 ・かずの時間に自作数材を使用 1 ・無記入 1						

<音楽>	X菱護学校	n=43	Y養護学	₹ n=39	総計	n=82
1_自作の教材・教具を使用している	20	46.5%	15	38.5%	35	42.7%
2 自作の問題プリントを使用している	. 0	0.0%	1	2.6%	1	1.2%
3 市販の教材・教具を使用している	5	11.6%	4	10.3%		11.0%
4 市販の問題プリントを使用している		0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5 107条本を使用している	0	0.0%	0	0.0%	0	
6 検定教科書を使用している		0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7 領域・教科を合わせた指導が多いため音楽の授楽は行っていない	12	27,9%	8	20.5%	20	24.4%
8 その他	. 5	11.6%	2	5.1%	7	8.5%
〈その他〉 ・教科はしていない 3 ・領域・教科を合わせた指導の中で音楽の指導を行っている 1 ・担任外なので分からない 1 ・生徒の実態に応じて曲を通び、歌唱・リズム打ちを行っている 1 ・実態に応じた通材を用意している 1						

## 表3-11 ★印本を使用しない理由(複数回答)

	X著語学校	n=43	Y養護学校	n=39	指线	n=82
1 採択していないから	. 5	11.6%	6	15.4%	. 11	13.47
2 女印本の内容が児童生徒の実態に合っていないから	20	46.5%	20	51.3%	40	48.89
3 検定教科書を使用しているから	. 0	0.0%	0	0.0%	0	0.0
☆印本の絵が貌しみにくいから	1. 11	2.3%	3	7.7%	4	4.9
★印本の大きさや建さなどが障害のある児童生徒には負担になるから	1	2.3%	1	2.6%	2	2.49
児童生徒によって全印本が破かれたり遅されたりしてしまうから	. 1	2.3%	2	5.1%	3	3.79
自作の教材・教具を使用した方がいいから	. 19	44.2%	9	23.3%	28	34.15
自作の問題プリントを使用した方がいいから	. 5	11,6%	41.	10.3%		11.07
107条本を使用しているから	. 4	9.3%	3	7.7%		8,5
0 市販の教材・教具を使用した方がいいから	3	7.0%	2	5.1%	5	6,15
1 市版の問題プリントを使用した方がいいから	31	7.0%	0	0.0%	3	3.7
2 領域・教科を合わせた指導が多いから	18	41.9%	12	30.8%	30	36.6
3 女印本の内容を十分に把握していないので、使用法が分からないから	41	9.3%		2.5%		6.1
4 女印本の採択申請手続きが面倒だから	ol	0.0%	0	0.0%	0	0.0
15 その他	0	0.0%	3.	7.7%	3	3.7
くその他> ・教科を行っていないため 2 ・作業学習が中心となるため、使用する機会が少ない 1	<del></del>					

妻3−12 裏在の女印本の在り方について(複数回答)

	X表演学的	n=43	<b>Y表担字</b>	Ž n=39	113	n=82
1 現在のままでよい	. 8	18.5%	5	12.8%	13	15.9%
2 今印本の内容を質的にもっと光深させていった方がよい	9(	20.9%	8	20.5%	171	20,73
3 1周をもっと細分化して開発を多くし、発達政策に応じて系統的に使用しやすいようにしていった方がよい	7	16.3%	10	25.63	17	20.71
4 もっと児童生徒が現しみやすい機能・写真などが多くなるとよい	14	32.6%	[0]	25.6%	24	29.31
5 児童生徒の四哥を考慮し、大きさ・重さ・紙質などを改善して使いやすくした方がよい	7[	16.3%	71	17,9%	14[	17.13
6 他の教科の女印本もあった方がよい	0	0.0%	0	0.03	01	0.03
7 107条本をもっと使用していけばよい		11.6%		12.53	10	12.25
8 今日本に預らず、教師がもっと教材・教具の開発や授業研究・指導方法に力を入れるべき	13	30.25	71	17.9%	20	24.43
★印本に限らず、領域・教科を合わせた授業にもっと力を入れるべき	21	4.8%	4	10,3%	6	7.33
10 女印本の採択申請手続きを簡単にした方がよい	3	7.0%	1	2.6%	4	4.93
11 その他・	5	14.0%	3	7,7%	9	11.05
〈その他〉 ・個々の実践に合ったものを作るのも難しいと思う ↑ ・よく分からないから 3 ・女印本は実態に合わないことが多い ↑ ・特に与えていない ↑ ・無望人 3						

表3-13 107条本の認知

	X業語学校	n=43	Y養護学校	n=39	総計	n=82
知っている	351	81.4%	35	89.7%	70	85.4%
知らない	8	18.6%	4	10.3%	12	14.6%
その他	0	0.0%	0]	0.0%	0	0.0%

- 表3-14 これまでの107条本の使用状況

	X養護学校	n=43	Y養護学校	n=39	総計	n=82
使用したことがある	25	58.1%	27	69.2%	52	63.4
使用したことがない	17	39.5%	11	28.2%	28	34.1
その他	1	2.3%	1	2.6%	2	2.4

表3-15 現在の107条本の使用状況

	X養護学校	n=43	Y賽護学校	n=39	総計	n=82
使用している	17	39.5%	12	30.8%	29	35.
使用していない	24	55.8%	26	66.7%	50	61.0%
その他	2	4.7%	11	2.6%	3	3.7%
くその他> ・時々 3		· <u>·</u> ·······	<del>,</del>			
-						

表3-16 107条本の取り扱い

	X養護学校	n=43	Y養護学校	n=39	化路	n=82
1 毎日児童生徒に持ち帰りさせている	0(	0.0%	0	0.07	0	0.0%
2 持ち帰りはさせず、担任が預かり授業の時に渡す	2	4.75	. 0	0.0%	2	2.4%
3 持ち帰りはさせず、児童生徒の礼の中に入れている	0	0.0%		2.6%	1	1.25
4 持ち帰りはさせず、数室の本欄やロッカーに入れている	18	41.9%	11	28.25	29	35.4%
5 その他	0	0.0%		2.6%	1	1.25
くその他> ・長期休みの時には持ち帰らせ学習に使わせる 1						

表3一17 107本の使用頻度

	X養護学校	п=43	Y養護学校	n=39	総計	n=82
毎日	1	2.3%	0	0.0%		1.2%
2~3回に1度程度	4	9.3%	0	0.0%	4	4,9%
週に1度程度	2	4.7%	3	7.7%	5	8.1%
月に1度程度	6	14.0%	6	15.4%	12	14.5%
半年に1度程度	3	7.0%	11	2.6%	4	4.9%
年に1度程度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.6%
その他	21	4.7%	2	5.1%	4	4.9%

くその他>

- ・休み時間など 3
- ・授業で組続的に使用するというより児童が自由に読んだりすることが多い 1 ・子どもが見たいと言った時 1 ・子どもによってばらつきがある 1

表3-18 107条本の使用類度の高い授業(複数回答)

		X養護学校	n=43	Y養護学校	€ n=39	総計	n=82
1	国語	. 41	9.3%	5	12.8%	9	11.0%
2	算数(数学)	1	2.3%	6	15.4%	7	8.5%
3	理科	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4	社会	. 0	0.0%	1]_	2.6%	1	1.2%
5	生活		2.3%	2	5.1%	3	3.7%
6	体育	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7	保健	0	0.0%	1	2.6%	. 1	1.2%
8	家庭(技術)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9	図画工作(美術)	2	4.7%	1	2.6%	3	3.7%
10	英語	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11	日常生活の指導	9	20.9%	0	0.0%	9	11.0%
12	生活単元学習	5	11.6%	0	0.0%	5	6.1%
13	遊びの指導	2	4.7%	0	0.0%	2	2.4%
14	作業学習	0	0.0%	1]	2.6%	. 1	1.2%
15	その他		16.3%	3	7.7%	10	12.2%

- くその他>

  - ・自立活動 5 ・休み時間 3 ・学級指導 2
  - ·無記入 2

表3-19 107本を使用しない理由(複数回答)

	X賽寶学校	n=43	Y賽寶学校	n=39	投針	n=82
1 様択していないから	3	7.0%	4	10.3%	7	8,5%
2 検定教科書を使用しているから	0	0.0%	. 0	0.0%	0	
3 ★印本を使用しているから	0	0.0%	11	2.6%	1	1.2%
4 児童生徒の実態に合った内容の107条本がないから	5	11.5%	5	12.8%	10	
5 児童生徒によって☆印本が確かれたり堪されたりしてしまうから	11	2.3%		2.6%	2	
6 目作の教材・教具を使用した方がいいから	8	18.6%	3	7.7%	11	
7 市販の教材・教具を使用した方がいいから	3	7.0%	3	7.7%	11	
8 領域・教科を合わせた指導が多いから	10	23,3%	13	33.3%	23	
9 107本の採択申請手続きが面倒だから	_0	0.0%	0	0.0%	0	
10 107条本のことをよく把握していないから	3	7.0%	3	7.7%	' _ 6	7.3%
11 その他	2	4.7%	3	7.7%	5	8.1%

表3-20 現在の107条本の在り方について(複数回答)

	X表担学校	n=43	Y養護学校	n=39	<b>料料</b>	n=82
現在のままでよい		9 3%	4	10 3%	- 1	9,8
2 もっと高層な本も侵収できるようにしてもらいたい	. 2	4.7%	- 3	7.7%	. 5	
3 図書だけに限らず、児童生徒の実想に応じたもの(絵カード等)を保税できるようにしてもらいたい	25	58.1%	25	64.15	50	
★印本や検定教科書を改善して党実させていった方がよい	4	9 3%		0.0%		4,9
107条本に独らず、教師がもっと教材・教具の開発や授業研究・指導方法に力を入れた方がよい	14	32.6%	5	12.8%	19	
もっと107条本のことを詳しく思うせて欲しい	5	11,6%	4	10.3%	9	11.0
その他	7	16,3%		7,7%	10	
(その他> ・特に数付書は必要ない。その感度必要なものを用意した方がいい 1 ・児童生徒に合った本を本展で買えるようにしてほしい 1 ・音の出る本も選択可挽にしてほしい 1 ・特に考えていない 1 ・分からない 2 ・ 急犯入 4						

表3-21 今後、知的障害を有する児童生徒への力を入れるべき学習分野について(複数回答)

	X菱護学校	n=43	Y養護学校	n=39	ロ「抗鶏」	=82
農業などの職実訓練的な学習	. 6	14.0%	6	15,4%	12	14.6
工業などの職業訓練的な学習	. 4	9.3%	S	12.8%	. 9	11.0
流通・サービス業などの職業訓練的な学習	11	2.3%	3	7.7%	. 4	4.9
食品製造・販売業などの職業訓練的な学習	2	4.7%	4	10.3%	. 6	7.3
生活単元学習	4	9.35	_ 9	23.1%	13	15.9
遊びの指導	2	4.7%	31	7.7%	. 5	. 6.
日常生活の指導	24	55.8%	_22	56.4%	46	56.
簡単な文字や文章の読み書きの学習	15	34,9%	6	15.4%	21	25.
人との会話の学習	25	58.1%	_ 23	59.0%	48	58.
制単な数字や四則演算の学習	_8	18,6%	3	7.7%	. 11	13.
○ △ □ ☆ などの図形に関する学習	2	4,7%	3	7.7%	5	6.
! 乗り物などの利用や時刻器を読む学習	9	20,9%	11	28.23	20	24.
長さ・重さ・容量を表す単位の学習	31	7,0%	3	7.7%	6	7.
金銭の使い方に関する学習	14	32.67	19	48.7%	33	40.
簡単な地図を読む学習	3	7,0%	1	2.6%	4	4.
市役所や郵便局・銀行などの利用に関する学習	5	11,6%	5	12.8%	10	12
歌唱・器楽・色彩・絵画・水泳・陸上・球技など芸術・体育的な学習	8 .	18,6%	8	20,5%	18	1,9,
その他	11	25.6%	71	17.9%	18	22
・自己選択・自己決定 ・児童生徒の実態と観のニーズと教師の方向性を常にすり合わせて相当 ・実際の生活に必要な力の向上 ・体づくり ・課題(作業を含めて)に取り組む力 ・健康	至に考えあう姿多	<b>\$</b>				
<ul> <li>・体力</li> <li>・社会的なルール</li> <li>・作業学習</li> <li>・余暇活動</li> <li>・3数分することを現在の自分の実践では考えていない</li> <li>・3数分する生徒はここ数年いない</li> </ul>				•		

### - 後4--1 調査対象校の概要

#### (児童生徒教・教員教)

<x校></x校>	~~~	
	児童生徒教	教員教
小学部	43	20
中学部	34	. 21
立法法	9	10

. <y校></y校>		
	児童生徒教	数员数
小学部	34	17
中学部	33	_20
高等部	25	25

児童生徒數	牧員歌
9	7
	10
16	9)
	<b>児童生徒数</b> 9 11 16

	くX技> 小学事体	学年(: ·	年)		
			1 *	<b>*</b>	2
ij	日空	日生	月主	日生	月雪
-2	63	自恋	(自)	85.	自接
3	<b>30</b> 0	1 <del>2</del>	Jar.	30	97U
4	生単	₩	自造	<b>⊒</b> 0	183
		2		<b>T</b>	
. 5		自治		SEC.	
-	L	日生	<u> </u>	日生	

(時間第)

	大学教養:	学年(1~2	年生)			
	. A .	*		*		
-	日生	日生	70年	日生	日生	
. 2		生当 .	NU.	左単	速び	
3	₩U	生単 、	32 U	生果	生単	
4	93	百支	<b>日</b> 章	82	空巢	
1	*					
15	8.≢	日生	日生	日生	日生	
4				_		
_						

学年(12	半生)					
- 火	*	. 本				
日宝	日生	日生	日生			
. 田田川	投資湯	20万	. 超超为			
. 国港 .	空準	. las	生業			
.   体育	- 生単	体育	. 7.			
4 書頭   体育   生単   体育   音通						
日宝	FI.S.	日生	30			
			旧生			
	上 日生 日本 日本 日本 体育	日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	次 水 末 目生 目生 日生 調節別 四月別 調節別 日は 生薬 強び 体育 生早 体育			

	小学者高	李华(4~6)	年)				
	. A	火	- X _	<b>*</b>	4		
	日生	月堂	日宝	日本	8.4		
21		自量	自活	自活	自港		
30	95	生星	<b>3</b> 0	自活	生學		
TAI.	休育	生業	達ひ	查集	<b>空</b> 集		
	1						
1 51	10=	生學		分養	自港、		
-	日生	田生	1	日生	日本		
_							

	小学学は	字字(3~	(4年生)			
	Я	T X	. T _ A	1. 本	T-2	
ī	日生	日生	日生	日生	日生	
2	23	13 C	生果	体方	30	
3	生素	310	生单	体育	音通	
4	21	8.7	. 自活	自活	自活	
ĺ		10		1		
3	日生	. IBIT	. 旧生	生毕	日生	
		18 🕏		日生		

小朱丰	■学年(3~4	年生)		
1.8	1 %	*	. *	
1184	日子	<b>E</b>	日生	. 日生
2 生単	120万	は旧方	교교회	
3 10 1	自主	生単	1905	- 生生
4 22	体育	生単	体育	11分
	**			
5 307.5	生果	日生	生単	TU.
明生	日生		日生	85

中学部_				
		1. 75	本	1
1日生	8 =	日生	日生	日書
2 17-7	- 全華	作業	生単	位准
3 (5-3)	生単	作業	也量	作者
AI作字_	上生華	作表	生単	作業
	. 16			
与混合	開金		体質	73
6月日生	日生		日空	闰生

$\overline{}$		火	* .	- 本	
$\Box$	18.0	日生	日生 .	日至 .	日生
F	143	生単	<b>全集</b>	李章	30
17	I CK W	生巣 .	生巢	生出	30
$\vdash$	日生	8.7	自活	8.3	自活
1	-	***		*	
17	in t	体	日生	74	日生
Н	He -	H-E		日本	

44=44=(K-64#)

	小学等高级	さけ(5~6年	(全)				
	Α	火	*	. 本			
ī	日生	日至	日生	R <b>≘</b>	<b>同</b> 套		
Ţ	4	建田州	双组为	建规范	2000		
-3	生華	在单	生単	日誓 .	生星		
7	7.1	体育	三果	体育	17美		
ľ	* *						
-5	選び	1380	日生	10000	30		
7	日生 .	8生.		T T	日生		

火 *		<b>.</b>
生 日生	日冬	日至
为 作者	深刻	作品
30 173	72	作字
10 作業	3.0	作著
番	200	自去
4	日 供	日生
	20 作業 20 作業 表	を 日生 日本 第 作者 深致 数 作者 深致 数 作者 深致 数 作者 深致

1 1	*	. 本	1
184	日生	. IS €	8.5
17.3	- 生早	作法	はカカ
作事	. 生業	作字	生業
17.3	生量	作業	生地
. 16			
生里	189	生生	体育
日幸		日生	日生
֡	作業	作注 左吳 作注 左吳 作注 左吳	作注 生果 作注 作字 生果 作其 作者 生果 作業

=	学等				
	A	*	*	*	
116	4	日幸	日生	B.≝	B <b>≅</b>
2 0	カラくり	体カつくり	体力つくり	体力つくり	体カラくり
311	3	李斯	作器	#	7
1 41 2	13	35	112	香香	传港
7	_	*		Ť	
518	<b>T</b>	7.5	日生	生単	国は事業
1	1	日本		生果	日生
-	_				

•			<u> </u>	
	***			
		- 火	. *	
	सिंख≢	8.4	.(84	. 183
	2 2 2	拉莱	作事	140
	3 53	作書	作表	. (1)
	4 総合	作書	. (作者	. 11
	5/6/3	作者	15Æ	47
	100	104		84

		t
2		_
		Ħ
	_2(	Ë
<b>1</b>	_3	Ē
<u> </u>		3
		_
<b>3</b>	<u>_5</u>	Ü
		Ü

T A	火	<b>*</b>		3
184	思生	日生	日生	月至
2はカつい	(体ガつくり	日本フ	体力つくり	体カつくり
3183	生虹	はさ	体育	作業
40587	生型	提合	135 基本	作法
	. 18			
5 /6-31	情報	日生	生単	73
617-3	日生		生単	日生

注1) 日生:日常生活の指導 速び:進びの指導 生以:生活単元学官 自活:自立活動 特活:特別活動 舞合:総合的な学習の時間

注2)各学校ともに後青課程を学校独自で変別的に適用しており、1時間目・2時間目などといった規則的に行われている時間割ではなかったために、ここではできる履り本来の時間割に近い形で各学校の作式を分かりやすいように統一した形で掲載している。

## 《生徒集·教员集》。

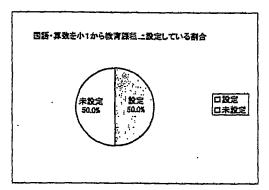
<w中学快></w中学快>		
	生徒量	. 权利基
知的原言学院	20	
情報學書学場	11	116

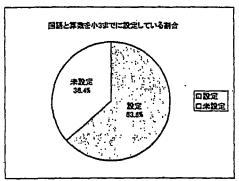
#### (時間割)

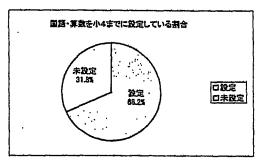
l A	火		一 末_	
<b>学</b> 型	(13)	カ学	国语	一百字
体百	清景	体育		. 体育
14.8	传来	作業	生単	美術
41.3	作者	作書	生単	海海
11.	15		1	
<b>1117</b>	位置	(共会)	量学	生毕
44		日本	-	主車

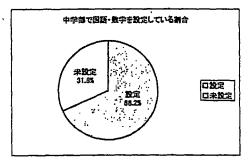
<11 <b>/!~</b> 3/	1>						
I A	火		- 本	. •			
11 2 3	(NE	第字	GIU	カラ ニー			
2 (33)	23	作港	作業	体育			
3 45-23	推理	作课	作家	獎指			
41443	世書	作表	生泉	美術			
	<b>**</b>						
5 年13	体育	1230	董字	生星			
8 生里		(株金)		生単			

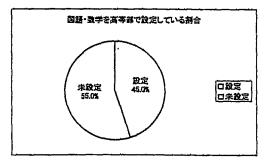
## 図4-1 北海道内の知的障害学校の各学部の中で、「国語」「算数(数学)」を時間割上で設定している学校の割合

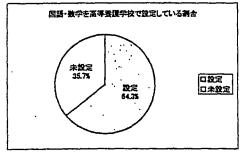












資料5-1

☆印本及び検定教科書の採択がなかった知的障害学校における在籍児童生徒の障害の程度一覧

	<b><b校></b校></b>				
程度	ĮQ	小学部	中学部	高等部	合計
3	測定困難	16	4	. 6	26
度	25以下	0	4	. 6	10
#	26~35 36~50	0	2	1	3
度_	36~50	4		. 0	7
軽	51~75	0	. 1	3	4
軽度	76以上	0	0	0	0
	枝_査	0	0	0	0

<u> <f校></f校></u>				
10	小学部	中学部	商業高	슴카
類定困難	8	13	0	21
25以下 26~35	2	5	0	7
26~35	0	4	0	4
36~50	4	3	0	7
51~75	0	1	0	1
76以上	0	0	O O	0
未枝蛋	5	7	_ 0	12

		<c校></c校>				
••	程度	IQ	小学部	中学部	高等部	合計
	Ĩ	測定困難	6	2	5	13
	度	25以下	0	0	2	2
	4	26~35 36~50	0	0	1	
	度	36~50	Ō	0	0	0
	軽	51~75	0	1	0	1
1	度	76以上	0	Ö	0	0
	_未_	検_査	3	Q	. 0	0

程度	IQ	小学部	中学部	高等部	슴화
未実施・決	定困難	6		3	16
重度	25以下	3	_ 2	. 2	7
中度	25~50	5	3	4	12
軽度	50~75	0	0	. 0	0

<u><d校></d校></u>				
程度	小学部	中学部	高等部	合計
中度以上	26	26	20	72
軽度	29	21	17	67

<u> </u>				
程度	小学部	中学部	高等部	合計
中度以上	. 4	4	1	. 9
轻度	9	3	7	19

<u> </u>				
程度	小学部	中学部	高等部	合計
測定困難	5	6		16
重度	1	10	. 4	15
中度	7	9	4	20
軽度	0	0	. 0	0
未枝奁	12	1		20

<u> </u>					
程度	IQ	小学部	中学部	温等部	습計
其	測定困難	20	15	8	43
_ 度	25以下	8	6	12	26
#	26~35	10	4	2	16
度	36~50	11	1	. 1	13
展	51~75	_ 3	0	0	3
_度	76以上	0	0	0	0
+ +0	査	4	8	0	12